

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課： _____

担当課長名： _____

事業名	都市計画道路 菅谷飯田線	事業区分	街路	事業主体	茨城県	
起終点	自：茨城県那珂市後台 至：茨城県那珂市飯田	延長	1.95 km			
事業概要	都市計画道路菅谷飯田線は、水戸勝田環状道路の一部として県と那珂市が一体となって整備している重要な路線であり、特に常陸那珂地区から常磐自動車道那珂ICへのアクセス道路として交通の円滑化を図り、那珂市菅谷地区への交通混雑緩和を図るものである。					
H3年度事業化	S43年度都市計画決定	H3年度用地着手	H4年度工事着手			
全体事業費	約56億円	事業進捗率	40%	供用済延長	1.36 km	
計画交通量	18,700台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 4.23 (残事業) 7.50	総費用 (残事業)/ (事業全体) 31.1/55.1億円 (事業費：30.2/54.2億円) 維持管理費：0.9/0.9億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) 233.1/233.1億円 (走行時間短縮便益：227.5/227.5億円) 走行費用減少便益：4.3/4.3億円 交通事故減少便益：1.3/1.3億円	基準年	平成17年	
感度分析の結果	交通量、事業費等の変動を想定しても、費用便益分析の結果に問題なし。					
事業の効果等	円滑なモビリティの確保（水戸勝田環状道路として旅行速度の改善が期待される。） 安全な生活環境の確保（歩車道が分離されることで歩行者の安全が確保される。）					
関係する地方公共団体等の意見	地元那珂市やひたちなか市より、常磐自動車道那珂ICと国道6号へのアクセス向上や水戸勝田環状道路の一部として早期整備の強い要請がある。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	関連事業の下菅谷土地区画整理事業がH12年度に解散し、以降の用地買収が単純買収となった。 H13年度に事業認可区間の延伸を行った。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成15年度に延長1,360m区間が完成し供用を開始している。残りのJR水郡線をまたぐ590m区間については、未買収地を取得後、橋梁工事及び道路改築工事に着手し、事業の早期完成を目指す。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	難航していた用地買収について、地権者の同意が平成18年度中に得られる見込となり、未買収地の取得により事業の進捗が図られる。					
施設の構造や工法の変更等	再生材（砕石、As）の利用によりコスト縮減を図った。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。